

建築とは、人びとの営みと時間を受け止める「場」であり、照明はそこに寄り添い、空間の質や記憶を静かに浮かび上がらせる“見えない素材”である。建築と照明は、それぞれが異なる手法と視点から空間と対峙しながらも、共に人間の感覚と情動に働きかけるものである。

八戸譚

クロード・エンゲルは語る。「建築設計者のための素材は、スチールやコンクリートやガラスだけではなく、光を大切な建築素材のひとつとして捉えなさい」と。

その思想を受け継ぎ、「光は素材である」と語る照明デザイナー・面出薫は、建築空間のなかで“光そのもの”の存在を問うてきた。照明器具が主役ではなく、建築とそこに生きる人びとこそが輝くべきものであるという考えのもと、光を通じて建築の輪郭と気配を際立たせてきた。

「はっち」誕生の舞台裏から——
これからの公共空間のあり方を探る

建築家と照明デザイナーのダイアログ

針生 承一

建築家

面出 薫

照明デザイナー



8・22 Friday

13:00~
(開場 12:30)

ダイアログの舞台は、針生承一が設計した八戸ポータルミュージアム「はっち」。

まちの文化と人びとの活動が交差する“ひらかれた建築”として2011年に誕生し、八戸の中心街に日常の創造と交流を生み出し続けている。

対話では、針生が自身の建築模型を“第三の語り手”として中央に据え、面出とともに光を実際にあてながら、その陰影や反射の変化をともに観察していく。素材、仕上げ、寸法の関係性と、そこに流れる時間や気配を、光を用いて再構築していく試みである。

建築家がどのように空間を構想し、素材と向き合いながら公共性を形づくっていくのか。照明デザイナーは、いかにして光を操作し、その建築にふさわしい“深度”を与えていくのか。両者の視点が交差することで見えてくるのは、建築という静的な構造物が、光とともに動的な時間や感情を内包する「生きた空間」へと変容していく過程である。

思考が立ち上がる瞬間を共有し、建築と照明が互いに補い合いながら生み出す空間体験の核心に迫る、知的で詩的な対話の場となるだろう。

主催：一般社団法人
Tocol

● 場所：「八戸ポータルミュージアム はっち」
シアター 1

● 会場参加：大人 2,500円(税込) / 当日参加は3,000円(税込)
※中学生・高校生無料

※面出薫著『建築照明の作法(TOTO建築叢書)プレゼント』

● オンライン参加：1,000円(税込)

裏面の【オンライン視聴に関するご注意】をご覧ください。



針生 承一 Shouichi Haryu

建築家

針生承一建築研究所 代表



Web Site

東北大学大学院を修了後、高橋誠一氏に師事。1981年に針生承一建築研究所を設立し、以来40年以上にわたり、公共施設や文化・福祉施設を中心とした建築設計を通じて、地域に根ざした空間づくりを実践している。人びとの記憶や暮らしに寄り添い、土地の歴史や風土との調和を大切にしたい設計思想は、多くの支持を集めてきた。

特に福祉建築においては先駆的な実践を重ね、筋ジストロフィー施設「ありのまま舎の自立ホーム」の設計においては、宮内庁より感謝状を受けるなど、福祉の現場に深く寄り添う建築家として知られている。

東日本大震災以降は、被災地における復興まちづくりに継続的に関わり、地域住民との対話を重ねながら、地域再生と建築の社会的役割を問い直す数多くの設計を実現。復興と創造の両立を目指した建築に取り組んでいる。

代表作に、八戸ポータルミュージアム「はっち」、宮城スタジアム、七ヶ浜国際村、亘理ありのまま舎、ゆりあげ港朝市協同施設など。建築を通じて、人と人のつながり、まちと自然との関係性を可視化するデザインを追求している。

これまでに、BCS賞、グッドデザイン賞（伝承デザイン賞含む）、公共建築賞、東北建築賞、日本建築学会作品選奨など多数受賞。日本建築家協会名誉会員、日本建築学会会員。東北大学、秋田県立大学、東北学院大学、宮城学院女子大学などで教鞭をとり、次世代の建築教育にも注力してきた。

著書に『際の美学を目指して 針生承一建築研究所作品集』（丸善プラネット）がある。地域とともに生きる建築、記憶の継承としての空間のあり方を、継続的に問いつつけている。



2011 | 八戸ポータルミュージアム「はっち」



2000 | 宮城スタジアム



2025 | 亘理ありのまま舎



1993 | 七ヶ浜国際村



2018 | 酒田市斎場



2003 | 杜の修道院



1998 | 七ヶ浜町アクアリーナ



1988 | 宮崎陶芸の里



2002 | 東北大学情報科学塔



2013 | 名取市斎場



2023 | ゆりあげ港朝市協同施設



2019 | かわまちてらす開上



面出 薫 Kaoru Mende

照明デザイナー

ライティング プランナーズ アソシエーツ 代表



Web Site



照明探偵団

美術大学で環境デザインを学んだ後に、照明メーカーの研究所に12年間勤務する。そこで日本を代表する建築家たちとのコラボレーションを通じて建築照明デザインの礎を築き、1990年にLPAを設立。同時に非営利の照明文化研究会“照明探偵団”を組織し、照明を文化として捉えて啓蒙活動を継続的に展開する。

現在は住宅照明から建築照明、環境照明、都市照明まで幅広い照明デザインのプロデューサー、プランナーとして世界中で活動する。

東京国際フォーラム、JR京都駅、せんだいメディアテーク、六本木ヒルズ、長崎原爆死没者追悼平和祈念館、京都迎賓館、シンガポール国立博物館、シンガポール中心市街地照明マスタープラン、ガーデンズ バイザ ベイ、JR東京駅丸の内駅舎保存復原ライトアップ、アマン東京、ぎふメディアコスモスなどの照明計画を担当。

国際照明デザイナー協会最優秀賞、北米照明学会照明デザイン大賞、日本照明学会・日本照明賞、日本文化デザイン賞、毎日デザイン賞などを受賞。日本建築学会(AIJ)、日本照明学会(IEIJ)、国際照明デザイナー協会(IALD)、日本デザインコミッティー(JDC)などの会員。現在、武蔵野美術大学客員教授。

著書に『都市と建築の照明デザイン』六耀社、『世界照明探偵団』鹿島出版会、『陰影のデザイン』六耀社、『光のゼミナール』鹿島出版会、『建築照明の作法』TOTO出版、『LPA 1990-2015 建築照明デザインの潮流』六耀社など多数。



1996 | 東京国際フォーラム Photo by Toshio Kaneko



2003 | JR 京都駅 © 三菱電機照明



2012 | ガーデンス バイザ ベイ Photo by Toshio Kaneko



2003 | 長崎原爆死没者追悼平和祈念館 Photo by Toshio Kaneko



2000 | せんだいメディアテーク © LPA



2014 | アマン東京 Photo by Toshio Kaneko



2015 | みんなの森 ぎふメディアコスモス © LPA



2012 | JR 東京駅丸の内駅舎 © LPA

〈主催・お問合せ〉一般社団法人 TOCOL <https://www.tocol.net/> E-mail donna@tocol.net

〈後援〉青森県／八戸市／デーリー東北新聞社／東奥日報社／八戸学院大学／八戸工業大学／

公益社団法人 日本建築家協会 東北支部／公益社団法人 日本建築家協会 青森地域会／一般社団法人 青森県建築士会

〈協賛〉株式会社トイ 愛瀾詩塾（えみしじゅく）

〈協力〉照明探偵団 <https://shomei-tanteidan.org/>

【オンライン視聴に関するご注意】

本イベントはオンライン配信でもご視聴いただけますが、円滑な運営と著作権保護のため、以下の事項を必ずお守りください。

○配信映像・音声の録画・録音・スクリーンショット・無断転載・二次利用を固く禁止いたします。

○講演内容・画面等を含む情報の SNS 等への投稿・共有は禁止いたします。

○1 申込につき 1 名での視聴を原則とし、複数名での同時視聴（上映会的な利用）はご遠慮ください。

○通信環境や機器のトラブル等により、視聴が困難となる場合がございます。主催者側では個別対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

○オンライン配信の URL やパスワードの 第三者への共有は禁止です。

○視聴中のチャット機能やリアクション機能をご利用の際は、他の参加者へのご配慮をお願いいたします。

皆さまに安心してご参加いただくため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

PROGRAM

① 対談：針生承一 × 小林眞（30 分）

② 古伝尺八演奏：琴古流大師範 寄田真見乃（10 分）

③ 自然光に学ぶ照明デザイン：面出薫（35 分）

④ 質問タイム（15 分）



事前申し込み

特別登壇

小林 眞

八戸学院大学 学長

はっち建設時プロデューサー



同時開催

8 August キッズライト・オデッセイ

「キッズライト・オデッセイ」は、光をテーマに子どもたちが地域の自然や文化にふれ、創造的に学ぶ体験型プログラム。照明デザイナー・面出薫と「照明探偵団」の協力のもと、金魚ねぶたづくりや街歩きを通じて、光のもつ美しさや役割を体感する。光と地域をつなぐこの活動は、子どもたちの感性を育むとともに、高校生・大学生のコースリーダーとの協働を通じて、世代を超えた学びと地域への愛着を育てていく。

9 (土)	15:30 (受付 15:00)	種差海岸	金魚ねぶた絵付け体験 お楽しみイベント (南浜公民館)	18:00	金魚ねぶた提灯行列 砂の道歩き体験 (種差海岸：館ノ下砂浜)	18:45	月の道 観望体験 (嶋大明神前海岸 → 南浜公民館)	20:30
21 (木)	15:15 (受付 14:45)	南部町	金魚ねぶた絵付け体験 (南部町ふれあい交流プラザ)	16:45	青森の句をぎゅっと詰めた 親子のバランス弁当教室 (なぎさ なおこ 先生)	18:00	照明探偵団 世界の照明デザイナーと街歩き (三戸駅周辺 → ふれあい交流プラザ)	20:00
22 (金)	15:30 (受付 15:00)	八戸市	金魚ねぶた絵付け体験 (はっち：シアター 1)	17:00	伝統工芸にひそむ ポケモンのひみつ (八戸市美術館) ※大人の観覧料は別途必要 (1,100 円)	18:15	照明探偵団 世界の照明デザイナーと街歩き (美術館 → おがみ神社大樹 → はっち)	20:15
23 (土)	15:30 (受付 15:00)	弘前市	金魚ねぶた絵付け体験 (弘前市民会館：大会議室)	17:00	弘前の文化遺産と出会う レトロ建築バスツアー (弘前市内バスツアー)	19:00	照明探偵団 世界の照明デザイナーと街歩き (弘前中央駅 → 土手町 → 弘前駅) (バス)	20:45